



【令和元年度衛生科技術等集合訓練・第一線救護衛生員練度判定

自衛隊札幌病院長視察】

令和2年2月19日

2月19日（水）、自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、真駒内駐屯地において、北部方面衛生隊（隊長：蝶野1佐）が担任・実施した令和元年度衛生科技術等集合訓練・第一線救護衛生員練度判定を視察した。

当初は、方面シミュレーションラボにおいて、第一線救護衛生員の練度判定を視察し、患者の処置及び観察の状況について確認した。

次に、東体育館において機能別訓練を視察し、全身観察から、気道確保による呼吸音の確認、呼吸管理における人工呼吸器の取り扱い、循環管理による胸骨圧迫・AEDの取り扱い等の訓練状況を確認した。

大鹿病院長は、方面内の衛生科隊員の救護に必要な衛生科技術が維持・向上されていることを確認するとともに、衛生支援能力の更なる向上のためには指導員の育成が重要であると述べた。



第一線救護衛生員練度判定
(方面シミュレーションラボ)



北部方面衛生隊長（蝶野1佐）から
説明を受ける病院長（大鹿陸将）



人工呼吸器の説明



機能別訓練（東体育館）